

事業報告等

第11期

自：2020年3月 1日

至：2021年2月28日

一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクト

事業報告

1 法人の概況

(1) 設立年月日

平成22年3月2日

(2) 定款に定める目的

がん医療に携わる医療者の育成支援と、がん患者とその家族および一般生活者に対する啓発活動と情報提供を行い、がん医療の教育推進に貢献することを目的とする。

(3) 定款に定める事業内容（公益目的事業、収益事業等）

- i 各種媒体における情報提供事業
- ii 教育・啓発セミナー事業
- iii 専門家育成のためのプログラム開発支援事業
- iv 海外留学支援事業
- v 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

(4) 会員（社員）の状況

社員数：15名（2021年2月現在）

(5) 主たる事務所・従たる事務所の状況

主事務所 東京都港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館4F

(6) 役員等に関する事項

役職	氏名
理事長	福岡正博
専務理事	津川浩一郎
常務理事	上野直人
常務理事	朴成和
常務理事	山本信之
理事	奥山裕美
理事	佐治重衡
理事	中村清吾
監事	金谷政徳

(7) 職員に関する事項

事務局長 小久保光昭

2 事業の状況

(1) 事業の経過及びその成果

1) Japan TeamOncology Program 2020 (JTOP)

◆2020年度プログラム運営のための会議開催

1. 第1回日米執行委員会 (2020/2/12)
2. 第2回日米執行委員会 (2020/3/10)
3. 第3回日米執行委員会 (2020/4/7)
4. 第4回日米執行委員会 (2020/5/12)
5. 第5回日米執行委員会 (2020/6/9)
6. 第6回日米執行委員会 (2020/7/14)
7. 第7回日米執行委員会 (2020/8/11)
8. 第8回日米執行委員会 (2020/9/15)
9. 第9回日米執行委員会 (2020/10/6)
10. 第10回日米執行委員会 (2020/11/10)
11. 第11回日米執行委員会 (2020/12/8)
12. 第12回日米執行委員会 (2021/1/4)
13. 第1回運営委員会/J-メンター会 (2020/3/4)
14. 第2回運営委員会/J-メンター会 (2020/3/24)
15. 第3回運営委員会/J-メンター会 (2020/4/21)
16. 第4回運営委員会/J-メンター会 (2020/5/26)
17. 第5回運営委員会/J-メンター会 (2020/6/23)
18. 第6回運営委員会/J-メンター会 (2020/7/28)
19. 第7回運営委員会/J-メンター会 (2020/8/25)
20. 第8回運営委員会/J-メンター会 (2020/9/24)
21. 第9回運営委員会/J-メンター会 (2020/10/20)
22. 第10回運営委員会/J-メンター会 (2020/11/17)
23. 第11回運営委員会/J-メンター会 (2020/12/22)
24. 第12回運営委員会/J-メンター会 (2021/1/19)
25. 第1回ワークショップオールメンター・チューター会議 (2020/11/17)
26. 第2回ワークショップオールメンター・チューター会議 (2021/1/19)
27. 2020年オールメンター・チューター会 (2020/4/18)
28. 第1回Project ECHO 実行委員会 (2020/3/5)
29. 第2回Project ECHO 実行委員会 (2020/4/2)
30. 第3回Project ECHO 実行委員会 (2020/5/7)
31. 第4回Project ECHO 実行委員会 (2020/6/4)
32. 第5回Project ECHO 実行委員会 (2020/7/2)
33. 第6回Project ECHO 実行委員会 (2020/8/6)
34. 第7回Project ECHO 実行委員会 (2020/9/3)
35. 第8回Project ECHO 実行委員会 (2020/10/1)
36. 第9回Project ECHO 実行委員会 (2020/11/5)
37. 第10回Project ECHO 実行委員会 (2020/12/3)

38. 第 11 回 Project ECHO 実行委員会(2021/1/7)
39. 第 12 回 Project ECHO 実行委員会(2021/2/4)
40. 第 8 回チームオンコロジーセミナー2020 実行委員会会議 (2020/3/16)
41. 第 9 回チームオンコロジーセミナー2020 実行委員会会議 (2020/4/13)
42. 第 10 回チームオンコロジーセミナー2020 実行委員会会議 (2020/5/18)
43. 第 11 回チームオンコロジーセミナー2020 実行委員会会議 (2020/6/15)
44. 第 12 回チームオンコロジーセミナー2020 実行委員会会議 (2020/7/13)
45. 第 13 回チームオンコロジーセミナー2020 実行委員会会議 (2020/8/17)
46. 第 14 回チームオンコロジーセミナー2020 実行委員会会議 (2020/9/14)
47. 第 15 回チームオンコロジーセミナー2020 実行委員会会議 (2020/10/12)
48. 第 16 回チームオンコロジーセミナー2020 実行委員会会議 (2020/10/26)
49. 第 17 回チームオンコロジーセミナー2020 実行委員会会議 (2020/11/9)
50. 第 1 回チームオンコロジーセミナー2021 実行委員会会議 (2020/1/23)
51. 第 2 回チームオンコロジーセミナー2021 実行委員会会議 (2021/2/22)

◆イベント事業

1. チームオンコロジーセミナー2020 “顔が見える” チームで行う全人的地域連携～COVID19 感染防止のためオンライン会議システムでの開催となった。

日時：2020年11月15日(日) 9:00 am - 17:00 pm

会場：オンライン ZOOM 開催

オンライン運営会場：HAKADORU 虎の門 東京都港区西新橋 1-6-13 柏屋ビル 1F

共催 11月15日 Educational Solution Seminar

エーザイ株式会社、小野薬品工業株式会社、協和キリン株式会社、第一三共株式会社、日本イーライリリー株式会社

ランチョンセミナー：東レ株式会社

協賛：中外製薬株式会社

後援：愛媛県医師会、愛媛県病院薬剤師会、愛媛県薬剤師会、愛媛大学附属病院腫瘍センター、愛媛県看護協会 四国がんセンター、愛媛県看護協会、愛媛県歯科医師会、愛媛県医療ソーシャルワーカー協会、愛媛県理学療法士会

参加者：計 26 名 医師 9 名、薬剤師 6 名、看護師 9 名、MSW 2 名

講師・実行委員・J-TOP チューター 26 名 総合計 52 名

応募開始 2020年8月28日(金)～10月9日(金)

2. MD アンダーソンがんセンターへの留学研修プログラム

The 18th Japanese Medical Exchange Program 2020

日程：2020年4月開催予定(5週間)であったが、COVID19の感染流行のためヒューストンでの研修は中止となった。しかしながら、選抜されたメンバーは、4月から毎月1回オンラインを活用しMDアンダーソンのメンターとの面談をおこなっている。

参加者：3rd Team Science Workshopにて選抜された医師2名、看護師2名、薬剤師2名、病理医1名、放射線診断士1名 合計8名

3. The 4th Team Science Oncology Workshop

COVID19 感染防止のためオンライン会議システムでの開催となった。

(プレ開催) Pilot Workshop: 2020年10月10日(土)

アバターを使用したワークショップのトライアルとしてチューターを対象としたワークショップを開催した。

第1部: 2020年11月21日(土)、22日(日) オンライン(ZOOM)開催

第2部: 2021年1月23日(土) オンライン(ZOOM)開催

第3部: 2021年3月27日(土) オンライン(ZOOM)開催

参加者合計 37: 医師 16名(うちタイ 2、韓国 1)、看護師 9名、薬剤師 11名(うち韓国 2、タイ 2)
臨床心理士 1名、

USメンター16名(医師:8名、看護師:4名、薬剤師:3名、コンサルタント1名)、

日本メンター14名(医師:7名、看護師:3名、薬剤師:4名)

日本チューター19名(医師:7名、看護師:7名、薬剤師:5名)

海外チューター8名(医師:4名、看護師:2名、薬剤師:2名)

広報委員 10名(医師:2名、看護師:4名、薬剤師:4名)

オブザーバー:9名

総合計 113名

募集開始 8月30日 応募締切 11月7日

スポンサードセミナー(ランチョンセミナー)

ファイザー株式会社、アストラゼネカ株式会社、日本イーライリリー株式会社

協賛: 中外製薬株式会社

4. Web 会議システムを活用した双方向のセミナープロジェクト「J-TOP Project ECHO ONE」

プロジェクト ECHO は MD アンダーソンがんセンターが、がん治療のより良い成果のため、取り組んでいる重要な教育プログラムのひとつで、J-TOP は Project ECHO の日本の拠点として、実行委員会を設け、日本国内およびアジア諸国のがん治療の課題をテーマに情報提供をおこなうことで、最適な治療を推進する人材育成を行う。さらに、COVID19 感染拡大でその需要は高まった。

プロジェクト名: J-TOP Project ECHO ONE (Oncology Education Network)

実行委員会: リーダー 医師 1名、サブリーダー: 医師 1名、薬剤師 1名、看護師 1名

委員: 医師 11名(うち台湾 3名、フィリピン 3名、米国滞在 2名)

看護師 5名(うち台湾 1名、米国滞在 1名)、薬剤師: 5名(うちフィリピン 1名、米国滞在 1名)

公認臨床心理士 1名

2020 年度の実績:

第 9 回 Project ECHO ONE Clinic (2020/3/25)

Theme: The HPV Burden: Review of Current and Future Treatment Paradigms for p16+ Oropharyngeal Cancers

Mentor: Dr. Michael Mejia, Radiation Oncology (University of Santo Tomas Hospital)

Facilitator: Dr. Adrian Fernando, (University of Santo Tomas Hospital)

Presenter: Dr. Therese Gutierrez, (University of Santo Tomas Hospital)

Language: English

緊急 Project ECHO ONE Clinic(2020/4/10)

テーマ：COVID-19 に対する院内体制の構築をいかにするか

メンター：森岡慎一郎先生（国立国際医療研究センター総合感染症科）

ファシリテーター：陶山久司先生（鳥取大学医学部附属病院腫瘍内科）

事例提示：八角和夫先生（国立国際医療研究センター） 言語：日本語

Emergency Project ECHO ONE Clinic (2020/4/20)

Theme: The Role of Team Oncology during the COVID-19 Outbreak.

Mentor: Dr. Norio Omagari (National Center for Global Health and Medicine Hospital)

Facilitator: Dr. Hisashi Suyama (Tottori University Hospital)

Presenter: Dr. Hsu Wu (National Taiwan University Hospital Biomedical Park Hospital)

Language: English

第 10 回 Project ECHO ONE Clinic (2020/4/28)

テーマ：がん患者の意思決定支援に関する看護実践

メンター：川崎優子（兵庫県立大学）

ファシリテーター：藤原登茂（国立がん研究センター）

事例提示：山口真由美（広島大学病院） 言語：日本語

第 11 回 Project ECHO ONE Clinic(2020/5/19)

Theme: Proton Therapy for Hepatocellular Carcinoma

Mentor: Dr. Stephen G. Chun (MD Anderson Cancer Center)

Facilitator: Dr. Hsiang-Kuang Tony Liang (National Taiwan University Hospital, Taiwan)

Presenter: Dr. Yuta Sekino (Tsukuba Proton Medical Research Center, Japan)

Language: English

臨時 ECHO ONE Clinic (2020/5/29)

テーマ：サイコオンコロジーの基礎知識

メンター：長谷川 直（千葉大学医学部附属病院緩和ケアセンター）

ファシリテーター：三浦咲子(NTT 東日本関東病院病理診断科)

事例提示：藤澤陽子（千葉大学医学部附属病院緩和ケアセンター） 言語：日本語

第 12 回 ECHO ONE Clinic (2020/6/9)

Theme: Immunotherapy for Rapidly Progressive Head and Neck Cancer After Definitive CCRT

Mentor: Dr. Wei-Chen Lu (National Taiwan University Hospital Yunlin Branch, Taiwan)

Facilitator: Dr. Hsiang-Kuang Tony Liang (National Taiwan University Hospital, Taiwan)

Presenter: Dr. Hsu Wu (National Taiwan University Hospital Biomedical Park Hospital, Taiwan)

Language: English

Project ECHO ONE スポンサーセミナー

(共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 2020/6/25)
テーマ：PICC の挿入・管理における診療看護師の役割
メンター：松橋詩織（東京高輪病院 診療看護師）
ファシリテーター：森田一先生（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 薬剤師）
事例提示：武田紗知（鳥取大学医学部附属病院） 言語：日本語

第 13 回 Project ECHO ONE Clinic (2020/7/7)

Theme: Management of Radiotherapy Acute Side Effects for Head and Neck Cancer Patients
Mentor: Dr. Amy Moreno (MD Anderson Cancer Center)
Facilitator: Dr. Hsiang-Kuang Tony Liang (National Taiwan University Hospital)
Presenter: Dr. Pei-Hsuan Lee (National Taiwan University Hospital, Taiwan)
Language: English

Project ECHO ONE スポンサーセミナー(共催：日本イーライリリー株式会社 2020/7/30)

テーマ：CDK 4/6 阻害薬のマネジメント
メンター：下村昭彦（国立国際医療研究センター乳腺腫瘍内科）
ファシリテーター：森田一（聖マリアンナ医科大学横浜西部病院）
事例提示：島貫裕実子（国立国際医療研究センター病院薬剤部） 言語：日本語

第 14 回 Project ECHO ONE Clinic (2020/8/28)

テーマ：がん患者の心理的怒り～怒りを抱える患者さんへのケア、自分へのケア～
メンター：長谷川直（精神神経科/千葉大学医学部附属病院緩和ケアセンター）
ファシリテーター：三浦咲子先生（NTT 東日本関東病院 病理診断科）
事例提示：藤澤陽子（千葉大学医学部附属病院緩和ケアセンター） 言語：日本語

Project ECHO ONE スポンサーセミナー (共催：第一三共株式会社 2020/9/16)

テーマ：HER2 陽性進行再発乳がんの治療戦略
メンター：下村昭彦（国立国際医療研究センター乳腺・腫瘍内科）
ファシリテーター：古川孝広（がん研究会有明病院 先端医療開発センター）
事例提示：河村雪乃（国立国際医療研究センター乳腺・腫瘍内科） 言語：日本語

Emergency ECHO ONE Clinic (2020/9/24)

Theme: Considering ACP during the COVID-19 pandemic.
Mentor: Dr. Joyce Neumann (The University of Texas, MD Anderson Cancer Center)
Facilitator: Dr. Hsu Wu (National Taiwan University Hospital, Biomedical Park Hospital)
Presenter: Dr. Hisashi Suyama (Tottori University Hospital, Japan)
Language: English

第 15 回 Project ECHO ONE Clinic(2020/10/2)

テーマ：多職種で取り組む HBOC カウンセリングと今後のケアへの実践的ハードル
メンター：古川孝広（がん研究会有明病院 先端医療開発センター）
ファシリテーター：陶山久司（鳥取大学医学部附属病院）
事例提示：綿貫瑠璃奈（慶應義塾大学医学部外科学乳腺班） 言語：日本語

Project ECHO ONE スポンサーセミナー（共催：エーザイ株式会社 2020/10/27）
テーマ：甲状腺濾胞がんの薬物療法について
メンター：清田 尚臣（神戸大学医学部附属病院腫瘍センター）
ファシリテーター：陶山 久司（鳥取大学医学部附属病院）
事例提示：下村昭彦（国立国際医療センター乳腺・腫瘍内科） 言語：日本語

第 16 回 Project ECHO ONE Clinic(2020/11/11)

Theme: Pediatric High Risk Rhabdomyosarcoma

Mentor: Dr. Arnold Paulino (University of Texas MD Anderson Cancer Center)

Facilitator: Dr. Michael Mejia, (Radiation Oncology, University of Santo Tomas Hospital)

Presenter: Dr. Eugene Richard T. Yap (University of Santo Tomas Hospital)

Language: English

第 17 回 Project ECHO ONE Clinic(2020/12/2)

Theme: GI: Locally Advanced Pancreatic Cancer

Mentor: Dr. Albert Koong, (Radiation Oncologist, MD Anderson Cancer Center)

Facilitator: Dr. Frederick Dy (University of Santo Tomas Hospital)

Presenter: Dr. Kelvin Ken Yu, (University of Santo Tomas Hospital)

Language: English

第 18 回 Project ECHO ONE Clinic(2021/1/13)

Theme: CNS: Brain Metastases

Mentor (Didactic presenter): Dr. Clevelinda Calma (University of Santo Tomas Hospital)

Facilitator: Dr. Teresa Sy Ortin, (University of Santo Tomas Hospital)

Presenter: Dr. Luisa Encarnacion- Jacomina (University of Santo Tomas Hospital)

Language: English

第 19 回 Project ECHO ONE Clinic(2021/2/18)

テーマ：がんゲノム医療時代における遺伝カウンセリング

メンター：平岡弓枝（認定遺伝カウンセラー/国立がん研究センター東病院遺伝子診療部門）

ファシリテーター：陶山久司（鳥取大学医学部附属病院）

事例提示：綿貫瑠璃奈（慶應義塾大学医学部外科学一般・消化器外科乳腺班） 言語：日本語

第 20 回 Project ECHO ONE Clinic(2021/2/25)

テーマ：局所進行臓器がんの術前化学療法

メンター：海野倫明（東北大学大学院医学系研究科外科病態講座 消化器外科学分野教授）

ファシリテーター：陶山久司（鳥取大学医学部附属病院）

事例提示：森田一（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院薬剤部） 言語：日本語

5. クラウドファンディングイベント「J-TOP 設立 20 周年リブランディングプロジェクト」

リブランディングプロジェクトとして、20 周年記念ロゴを新たにデザインし、投票権を与える寄附型クラウドファンディング事業をおこなった。寄付者には寄付額に応じ下記リターン品を送付した。

衣類（パーカー、T シャツ、ポロシャツ）、ペン、クリアファイル、封筒

イベント開始日：2020 年 6 月 30 日、イベント終了日：2020 年 7 月 31 日

寄付者数：延べ 121 名

1)-2 Web site: TeamOncology.com

1)-2-1 会員数およびサイト総ページビューほか

1. TeamOncology.Com 会員数：3,672名（医師 941 名 看護師 810 名 薬剤師 940 名 その他（患者・一般）981 名）2021 年 4 月末現在
2. サイト総ページビュー：月間約 50,000~100,000（YouTube を含む）
3. 制作 Web ページ総数（TeamOncology.Com サイトのみ）：約 500 ページ以上
4. 掲示板投稿数：月平均 15 件 毎月担当チームが投稿者にコメントを掲載。

1)-2-2 コンテンツ

1. ミニブログ Twitter および Facebook ページ『Cancer がん 癌 No More』によるチームオンコロジー情報の発信
2. メールマガジンによるチームオンコロジー情報の発信
3. Facebook グループなどの SNS サイトやメルマガリストを活用した、がん医療者のコミュニティ構築
4. 掲示板活性化のための J-TOP チューター新当番制（実行+サポートチーム制）の構築と運用管理
5. 掲示板活性化のための新カテゴリ造設制度（チューターのやりたい事支援企画）の構築
6. エッセイ『チームオンコロジーへの道』 J-TOP メンター・チューターによる、「チームオンコロジー」と「J-TOP」に関するエッセイを綴るコーナー
7. YouTube の各種動画コンテンツを活用したオンデマンド学習「TeamOncology Video Lectures」
8. チームオンコロジーセミナー2020 開催各種 Web ページ制作
9. The 4th Team Science Oncology Workshop 開催各種 Web ページ制作
10. JME2020 ブログページ制作
11. Project ECHO ONE の開催案内・各種 web ページ制作
12. 新型コロナウイルス関連リンク集の制作
13. 自然災害発生後のがん対処法 web ページのリニューアル
14. TeamOncology.Com サイトのアクセスログ および各種サイトの解析（毎日）、それらの解析に基づく月間報告作成

1)-2-3 衛星サイト 7 サイトの現状（2021 年 2 月末現在）

1. Facebook ページ「Cancer がん 癌 No More」（ファン数 4,500 閲覧者数（週間）約 2,000~3,000 人）
2. Facebook グループ「Japan TeamOncology Program グループ」（メンバー数 500 人）

1)-2-4 広報委員会

1. 広報主催「掲示板なんでも相談室」(毎月第1土曜日 20時から開催)
2. 広報主導で各イベントにおいて SNS での発信などを実施した。

2) J-HOPE

◆プログラム運営のための会議開催

1. J-HOPE ファカルティ会議(2020/2/14)
2. J-HOPE ファカルティ会議(2020/6/11)
3. J-HOPE ファカルティ会議(2020/10/13)
4. J-HOPE ファカルティ会議：最先端がん治療セミナー(2020/3/3)
5. J-HOPE ファカルティ会議：最先端がん治療セミナー(2020/8/29)
6. J-HOPE ファカルティ会議：最先端がん治療セミナー(2020/8/29)
7. J-HOPE ファカルティ会議：最先端がん治療セミナー(2020/10/8)
8. J-HOPE ファカルティ会議：最先端がん治療セミナー(2020/12/10)
9. J-HOPE ファカルティ会議：最先端がん治療セミナー(2021/2/3)
10. PEP 実行委員会(3月より2月まで月2回 第2・第4木曜日に開催)

◆イベント事業

1. The 8th Clinical Research Skill Advancement Workshop

目的：仮説に則った臨床研究を自ら立案・主導し、日本から世界に向けてエビデンスを発信できるがん領域における次世代の Clinical Investigator を育成する。なお、COVID19 感染防止のためオンライン会議システムを併用したハイブリッドでの開催となった。

日時：

2020年10月31日(金) オンラインを使用した講演会

2020年11月7日(土) - 8日(日) オンラインを併用したハイブリッドワークショップ

場所：国立がん研究センター中央病院 8階 患者サポートセンター

共催：第一三共株式会社、武田薬品工業株式会社

ランチオンセミナー：サノフィ株式会社、大鵬薬品工業株式会社、

後援：日本臨床腫瘍学会

公用語：英語(講演会)、日本語(オンサイト)

参加者：腫瘍内科医17名、ファカルティ：日本7名、米国3名、共催企業：10名

総合計37名

2. 最先端がん治療セミナー2020「究極のがんマネジメント：

Supportive Care～QOL改善と治療効果の向上を目指して」

目的：本セミナーは、医師、薬剤師、看護師などの医療者がそれぞれの視点で患者を的確にアセスメントし情報共有した上で、エビデンスの有無やレベルを考慮しながら個々の患者に最適な支持療法を実践するためのチーム対応法を全員で議論し、実臨床につなげる。

なお、COVID19 感染防止のためオンライン会議システムでの開催となった。

日程：2021年2月13日(土) 10:00～15:15

共催 Educational Solution Seminar

アストラゼネカ株式会社、小野薬品工業株式会社、協和キリン株式会社

協賛：中外製薬株式会社

参加者：33名（医師12名、薬剤師10名、看護師10名、管理栄養士1名）

ファカルティ9名、共催企業5名 総合計47名

3. Patient Empowerment Program (PEP Workshop)

「第2回医療者がリードする患者力向上ワークショップ」

目的：医療従事者が患者力の重要性に気づき、患者力を引き出すための知識とスキルを身につけ、実臨床に即した教育（プラクティカルサイエンス）の普及をおこなう。

結果として患者の治療効果をあげる成果につなげる。がん診療に従事する医師、薬剤師、看護師、その他の医療職が、(1)患者力とは何か、(2)患者力を引き出すために必要な知識とスキルは何かを、参加型ワークショップを通じて学ぶ。なお、COVID19感染防止のためオンライン会議システムでの開催となった。

開催日時：2020年12月6日(日) 10:00 - 16:00

オンライン運営会場：秋田厚生医療センター（秋田市飯島西袋1-1-1）

ランチョンセミナー共催：アストラゼネカ株式会社、

ブリストルマイヤーズスクイブ株式会社

協賛：中外製薬株式会社

参加者：32名（医師：8名、看護師：16名、薬剤師：4名、MSW:3名、理学療法士：1名）

実行委員：医師5名、看護師1名（うちCRC1名）、薬剤師1名、MSW1名、理学療法士1名

講師：3名、オブザーバー参加25名

総合計69名

3) -1 資金調達状況

1. 持続化給付金

支給金額；2,000,000円

支給日；2020年10月7日

3) -2 重要な契約の締結

「メッドコア・アソシエイツ株式会社」

1. 社団法人事務局業務の委託契約を締結した。

契約金額；月額275,000円（税込）

契約日；2020年3月1日

契約期間；2020年3月1日～平成2021年2月29日

2. ジャパン・チームオンコロジー・プログラム事務局業務の委託契約を締結した。

契約金額；月額880,000円（税込）

契約日；2020年3月1日

契約期間；2020年3月1日～平成2021年2月29日

4) 直前3事業年度の財産及び損益状況

(単位：円)

区分	第9期	第10期	第11期
	自：平成30年3月1日 至：平成31年2月28日	自：平成31年3月1日 至：令和2年2月29日	自：令和2年3月1日 至：令和3年2月28日
売上高合計	64,692,610	74,181,200	57,607,325
当期純利益合計	-7,414,295	-1,301,077	12,315,346
総資産	37,794,156	19,515,219	28,502,520
純資産	10,921,106	9,620,029	21,935,375

3. 社員総会、理事会等に関する事項

i. 社員総会、理事会

開催日	会議名	決議事項等
2020年5月5日	社員総会	2019年度決算報告 2020年度予算報告
2020年5月5日	理事会	2019年度決算報告承認 2020年度予算報告承認

4. 役員等の兼務の状況

区分	氏名	兼務する他の法人名	兼務内容	備考
理事長	福岡正博	和泉市立総合医療センター	名誉総長	医師
専務理事	津川浩一郎	聖マリアンナ医科大学	教授	医師
常務理事	上野直人	テキサス大学 MD アンダーソンがんセンター	教授	医師
常務理事	朴成和	国立がん研究センター中央病院	科長	医師
常務理事	山本信之	和歌山県立医科大学	教授	医師
理事	奥山裕美	昭和大学薬学部	兼任講師	薬剤師
理事	佐治重衡	福島県立医科大学	主任教授	医師
理事	中村清吾	昭和大学医学部	教授	医師
監事	金谷政徳	銀座スフィア税理士法人	代表	公認会計士

Ⅲ 貸借対照表

令和3年2月28日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】	28,502,520	【流動負債】	6,567,145
現金及び預金	28,473,932	未払金	6,459,559
仮払金	28,588	未払法人税等	70,000
		預り金	37,586
		負債の部合計	6,567,145
		純資産の部	
		【株主資本】	21,935,375
		利益剰余金	21,935,375
		その他利益剰余金	21,935,375
		繰越利益剰余金	21,935,375
		純資産の部合計	21,935,375
資産の部合計	28,502,520	負債及び純資産合計	28,502,520

Ⅳ 損益計算書

自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日 (単位：円)

【売上高】		
寄付金収入	31,599,325	
共催費収入	26,008,000	
売上高合計		57,607,325
売上総利益金額		57,607,325
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		47,222,172
営業利益金額		10,385,153
【営業外収益】		
受取利息	227	
雑収入	2,000,000	
営業外収益合計		2,000,227
経常利益金額		12,385,380
税引前当期純利益金額		12,385,380
法人税、住民税及び事業税		70,034
当期純利益金額		12,315,346

販売費及び一般管理費内訳書

自 令和 2 年 3 月 1 日 至 令和 3 年 2 月 28 日

(単位:円)

科目	金額
TeamOncology.Com Web サブ	1,435,687
Project ECHO 運営準備費	610,208
謝礼	2,580,960
オンライン会議年間使用料	82,330
事務局運営費 JTOP 運営費	10,560,000
事務局運営費 社団運営費	3,300,000
PEP Workshop 運営費	1,342,505
社団広報関連費 Web 年間	58,674
法人事務局レンタル費用	90,770
銀行 Web 口座利用料	70,417
会計事務費	793,000
社団法人事務局	27,160
事務局長報酬	397,586
8th Clinical Workshop	10,974,070
JME Program 2020	2,761,776
4th Team Science Workshop	5,432,606
最先端がん治療セミナー 2020	1,650,702
チームオンコロジーセミナー 2020	3,579,055
JTOP 広報経費	163,080
JTOP 総務費用	186,407
クラウドファンディング費用	1,043,779
クレジット決済費用	81,400
販売費及び一般管理費合計	47,222,172

V 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし。

(3) 引当金の計上方法

該当なし。

(4) リース取引の処理方法

該当なし。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の処理方法は税込み処理によっている。

2. 担保に供している資産

該当なし。

3. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

(単位：円)

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
—	—	—	—
計	—	—	—

4. 保証債務

該当なし。

5. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
—	—	—	—
計	—	—	—

6. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

種類	監事	
法人等の名称	銀座スフィア税理士法人	
住所	東京都中央区銀座 4-10-3	
事業の内容又は職業	税理士法人	
議決権の所有割合	—	
関係内容	役員の兼務等	監事
	事業上の関係	税務会計顧問契約
取引の内容	報酬の支払	
取引金額（円）	793,000	
科目	—	
期末残高（円）	—	

7. 重要な後発事象

該当事項なし。

8. その他

該当事項なし。

VI 附属明細書

1. 固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
		—	—	—	—
計		—	—	—	—

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—

3. 貸借対照表及び損益計算書の内容を補足する重要な事項

特に記載すべき事項はありません。